

第1号議案 令和5年度「収入支出決算」

第2号議案 令和5年度「事業報告」

1. 健康保険組合を取り巻く状況

《保険給付費の増加と、高齢者医療への納付金が大きく保険料収入を大きく上回る伸びとなっており、R6年度は全国の健康保険組合の8割以上が赤字となる収支予算となっている。》

- (1) R6年度予算ベースで全国の1,194組合が赤字で(対前年+103組合)、赤字総額▲6,578億円(対前年▲957億円)と2年連続の赤字予算。
- (2) 保険料収入は被保険者数の増加や賃上げの追い風もあり対前年予算比+4.5%であるが、保険給付費は+6.2%、高齢者医療納付金は+4.6%と引き続き上回る見込み。特に団塊世代の後期高齢者入りの影響が顕著。
- (3) 収支均衡に必要な財源を賄うための平均実質保険料率は10.27%となる見通し。また平均保険料率は対前年+0.05ポイントの9.32%で協会けんぽの保険料率(10.0%)以上の組合は333組合で全体の25%を占めている。

第1号議案 令和5年度「収入支出決算」

第2号議案 令和5年度「事業報告」

2. 令和5年度基礎数値

		R5 実績	R4 実績	R5 予算	R6 予算
保険料率	(事業主)	9.3%	9.3%	9.3%	9.3%
	(被保険者)	(5.475%) (3.825%)	(5.475%) (3.825%)	(5.475%) (3.825%)	(5.475%) (3.825%)
被保険者数(平均)		8,174 人	8,204 人	8,190 人	8,139 人
報酬月額/人(平均)		392 千円	390 千円	393 千円	411 千円
総標準賞与額(年間)		12,652 百万円	12,285 百万円	12,120 百万円	13,343 百万円
給付費	法定給付	2,226 百万円	2,108 百万円	2,209 百万円	2,383 百万円
	付加給付	43 百万円	39 百万円	42 百万円	47 百万円
	(被保険者一人当り)	(278千円)	(262千円)	(275千円)	(299千円)
納付金	前期高齢者	969 百万円	1,097 百万円	977 百万円	794 百万円
	後期高齢者	1,154 百万円	1,025 百万円	1,173 百万円	1,170 百万円
保健事業費	保健事業	61 百万円	67 百万円	93 百万円	107 百万円
	保養所等	29 百万円	25 百万円	28 百万円	7 百万円
(参考)	加入者数 (被保険者+被扶養者)	16,034 人	16,207 人	16,197 人	16,025 人

《基礎数値》

新型コロナ禍も5類へ移行し、経済活動及び社会生活もコロナ前に戻った感がある。事業主の業績が反映され当組合被保険者は減少し報酬額は微増に留まった。

- ・保険料率 : 9.3%を継続(前年度引上げ)
- ・被保険者数: 減少傾向に転じる。
- ・平均標準報酬月額: 横這い(予算通り)
- ・総標準賞与額(年間): 微増(R5年度会社業績に連動)
- ・給付費: 被保険者及び被扶養者とも薬剤費が大幅増加。
- ・前期高齢者納付金: 予算通り減少。
- ・後期高齢者支援金: 予算通り大幅増加。
- ・保健事業費: 各種健診・検査受診者減少に伴い減少。
- ・保養所等: 保養所売却に伴う一時費用増加。
- ・加入者数: 被保険者、被扶養者ともに減少(扶養率も低下)

令和5年度は事業主の業績回復途上にあり、報酬額は賞与を中心に微増となったが、加入者は減少傾向が続く。(特に被扶養者数は数年前から減少しつつあり、扶養率も1.0を割り込む)

第1号議案 令和5年度「収入支出決算」

第2号議案 令和5年度「事業報告」

3. 令和5年度決算(23.4.1~24.3.31): 一般勘定

(単位:百万円)		R5年実績	R4年実績	前年実績差	R5年予算	予算差	(参考) R6年予算
経常	保険料収入	4,661	4,621	+40	4,636	+25	4,876
	その他	9	7	+2	10	△1	3
	収入計	4,670	4,628	+42	4,646	+24	4,879
	給付費(医療費)	2,269	2,147	△122	2,251	△18	2,434
	高齢者納付金(国へ)	2,123	2,122	△1	2,149	+26	1,964
	保健事業費・他	148	198	+50	189	+41	189
	支出計	4,540	4,467	△73	4,589	+49	4,587
経常収支計	130	162	△32	57	+73	292	
経常外収支	191	115	+76	5	+186	8	
予備費	0	0		200	+200	300	
収支計(実質)	321	277	+44	△138	+459	0	
別途積立金取崩し	0	0		48		0	
収支決算残金	321	277		0		0	
(資産残高)				R5年実績との差		R5年実績との差	
資産残高	準備金残高	1,038	1,038	0	1,038	+0	1,038
	別途積立金残高	1,936	1,615	+321	1,560	+376	1,866
	その他(土地・建物等)	8	72	△64	72	△64	8
合計	2,982	2,725	+257	2,670	+312	2,912	

① 経常収支は130百万円の黒字(2期連続黒字)

- ・前年度の保険料率の引上げ効果継続による増収効果、もあり経常収支は黒字となった。
- ・医療費は対前年+2%の+33百万円と微増、薬剤費が10%以上アップ(+48百万円)、傷病手当金が制度の変更とメンタル不調者の増加により2.5倍での43百万円となったことにより大幅増加(対前年+122百万円)した。
- ・前年は過去の事務所費、出向者人件費を遡って支払ったため増加したが、本年度は単年度分のみ負担で対前年比較で大幅減少。

② 総収支は321百万円の黒字(対前年+44百万円)

- ・経常外収支では保養所売却+108百万円や国の補助金収入もあり+191百万円の収益となった。

③ 321百万円を残金処分として別途積立金として繰入。(詳細は後述)

④ 資産残高は2,982百万円(対前年+257百万円)

- ・経常収支の黒字、および保養所売却益により、その他資産の廃棄等もカバーし資産残高は増加。

第1号議案 令和5年度「収入支出決算」

第2号議案 令和5年度「事業報告」

3. 令和5年度決算(23.4.1～24.3.31): 介護勘定

(単位百万円)

	R5年 実績	R4年 実績	R5年 予算	R6年 予算
保険料率	1.75%	1.75%	1.75%	1.75%
収入				
介護保険収入	538.4	525.0	532.0	565.0
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0
計	538.4	525.0	532.0	565.0
支出				
介護納付金	559.0	504.3	559.1	564.5
その他支出	0.1	0.0	0.3	0.3
計	559.1	504.3	559.4	564.8
収支	▲ 20.7	20.7	▲ 27.4	0.2
予備費(△)	0.0	0.0	△ 5.0	△ 5.0
準備金取崩し	25.0	0.0	32.4	4.8
差引	4.3	20.7	0.0	0.0
準備金(介護)	84.5	105.2	72.8	79.7

<介護勘定>

【適用】

- ①2号被保険者(本人): 対前年101.6%の4,441名
- ②前年と比較して平均報酬月額は横這い(±0.0%)、総賞与額は微増(+4.1%)。
- ③被保険者一人当たり納付金額は昨年に引続き大幅な増加(対前年+9%)となった。

【収支】

- ①被保険者増加、平均報酬増額により保険料増収。
- ②1人当り介護保険料率の大幅上昇により、介護納付金が対前年+55百万円となり収支は赤字▲21百万円。
- ③実質収支が▲21百万円となり準備金の取崩しにより準備金残高は85百万円へ減少。
- ④R6年は実質的に収支は均衡見込。

<介護保険>

- ・40歳以上の国民は全員加入義務があり、「介護保険料」として国に納付。(健保が従業員分を代行して納付)
- ・国は要介護の人たちへの「介護費用」の一部へ充当。

・国の政策によって介護保険政策が変更されるので、今後の動向に要注意

第1号議案 令和5年度「収入支出決算」

第2号議案 令和5年度「事業報告」

4. 令和5年度事業報告

<保健事業の目的と概略>

加入者の健康維持・増進を目的としており「健康指導」「健康維持増進」を促進するための費用。

将来の「医療費(保険給付金)」の削減を目指すために使用しており、積極的に削減対象とする費用ではなく効果的な使用を継続するもの。

<令和5年度の実績>

支出実績90.2百万円(対前年▲2.1百万円 対予算▲31.1百万円)

(1) 健診・保健指導 23.9百万円

特定健診: 加入者の扶養者に対する特定健診
特定保健指導: メタボ対象者(予備群含む)に対する保健指導

(2) 保健指導宣伝活動 13.5百万円

機関誌発行・医療費通知・ICT利用による各種健康イベント実施
(ポイント付与を含むPepUpの活用)

(3) 疾病予防活動 23.4百万円

加入者の定期健康診断の費用負担
会社での歯科検診実施
人間ドックへの費用補助(節目ドック、定年記念ドック、配偶者向)
がん検診への費用補助

(4) 施設管理・運営 28.9百万円

保養所の管理運営
グラウンド、体育館の管理・運営

<令和5年の振り返り>

・重点的取組課題

①特定健診受診率向上(目標:被扶養者47%)

80.1%と初めて80%超え。前年+0.8ポイント。

被扶養者の受診率が34.9%と+0.7ポイント。他健保平均と比較すると全体で▲2ポイントで改善の余地あり。

②禁煙活動への取組強化(禁煙チャレンジ募集)

被扶養者へも範囲を拡大し年2回募集したものの、申込者が半減という結果。喫煙率36.6%で微減。

③がん検診の対象拡大

市町村が実施中の胃がん検診補助を新たに開始したが受診者は少数。(告知不足か?)

<令和6年の取組強化項目>

・人間ドック、がん検診補助額の拡大。③

・事業主との協業のコラボヘルスの推進。①②

・マイナ保険証普及への啓発活動

①特定健診受診率向上(目標85%): 特に被扶養者被保険者への広報活動の実施。

②禁煙活動への取組強化(被扶養者まで対象拡大)
事業主・地区との協業と禁煙チャレンジの取組充実

③人間ドック・がん検診補助増額(新規)

人間ドック補助14,000円⇒30,000円、がん検診補助増額

令和6年度 保健事業費予算

114百万円(対前年実績+24M) 保養所費用ゼロ化充当

第3号議案 令和5年度「決算残金処分」の件
 第4号議案 令和5年度「財産目録」の件

令和5年度残金処分(案)

<一般勘定>

収支決算残金処分 321,497,126円

上記決算残金を、次の通り処分する。

法定準備金	0円
別途積立金	321,286,846円
繰越金	0円
財政調整事業繰越金	210,280円

<介護勘定>

収支決算残金処分 4,277,273円

上記決算残金を、次の通り処分する。

法定準備金	4,277,273円
繰越金	0円

令和5年度財産目録

<一般勘定>

(単位:百万円)

	R5年度	R4年度	差異
(土地・建物)	(462)	(462)	0
(定期預金)	(551)	(551)	0
(他)	(25)	(25)	0
法定準備金	1,038	1,038	0
(定期預金)	(1,936)	(1,615)	+321
(他)	(0)	(0)	0
別途積立金	1,936	1,615	+321
(土地)	(0)	(49)	△49
(建物)	(7)	(14)	△7
(什器・他)	(1)	(9)	△8
その他	8	72	△64
合計	2,982	2,725	+257

*保養所 有馬楓荘を売却済。

<介護勘定>

法定準備金	84	105	△21
(普通預金)	(84)	(105)	△21